

令和3年度シラバス

言語聴覚士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
音声学Ⅱ		講義・演習	金田 純平	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
音声の基本的性質、発話産出過程、知覚のメカニズムについて学び、日本語の発音の特徴を理解し、国際音声記号(IPA)の知識を深めることを目的とする。				
授業の到達目標				
日本語の音声の特徴が理解できる。日本語の音節と拍について理解できる。 国際音声記号（IPA）を用いて、日本語の音声を記述できる。音声を客観的、分析的に捉えることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	イントロダクション・音声分析ソフトWavesurferの使い方			
2	モーラと音節 話速の測定 日本語のリズム			
3	アクセント ピッチ曲線と日本語のアクセント			
4	アクセント 京阪式アクセント・複合語のアクセント			
5	イントネーション アクセントとイントネーションの分析			
6	日本語の母音 舌の位置とフォルマント周波数			
7	世界の言語の母音 フォルマント周波数と分類基準			
8	日本語の子音1 構音点と構音法			
9	日本語の子音2 有声・無声とVOT(音立て時間)			
10	日本語の子音3 各種子音の音響的特徴			
11	日本語の子音4 異音と二次的構音			
12	実習 特殊モーラと持続時間の知覚実験2			
13	世界の言語の子音1 第4の分類基準			
14	世界の言語の子音2 日本語の子音と似て非なる子音			
15	総まとめと解説			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	期末試験の成績により判定を行う。		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
日本語音声学入門【改訂版】	斎藤純男	三省堂		
自由記載	講義資料は適宜配布する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
言語聴覚士のための基礎知識 音声学・言語学	今泉敏	医学書院		
シリーズ・日本語のしくみを探る② 日本語音声学のしくみ	町田健 編	研究社		
自由記載				
備考				